

～水と緑のある 安心して心豊かに生活できるまち～

真崎地区 自治会だより

No.43

発行 令和6年10月1日
編集 真崎地区自治会(企画・総務部会)
電話 283-4477
場所 真崎コミュニティセンター
メール mas-comi@vill.tokai.ibaraki.jp
東海村役場ホームページでも閲覧できます。
<https://www.vill.tokai.ibaraki.jp>

真崎地区自治会長あいさつ



真崎地区自治会長 今泉謙二

今年の夏も異常気象の現れとして、7月末に山形県や秋田県で100年に一度を超える記録的な大雨が発生し、死者や行方不明を出したほか、浸水被害のニュースが流れました。

私たちは、各区の「自主防災組織規約」及び「真崎地区自治会災害対策本部規約」に基づき、災害時の被害防止や軽減を図ることを目的に組織され、構成員の役割や避難場所が定められています。

しかし、構成員の役割や避難場所についてどこまでご存じでしょうか。いつ発生するか分からない災害を耳にするたび、真崎地区の防災は大丈夫なのかと思ってしまい、実効性のある防災訓練の必要性を感じております。

重要なことは、防災活動班リーダーの指揮が本当に実行できるかです。その為にも、地域まつりや行事をとおしてリーダーを覚え、話をする事は、災害時に備えて大変重要なコミュニケーションになると思います。

今年度の真崎地区自治会防災訓練は、10月19日を予定しておりますので、組織の役割や避難場所の機能について、住民の皆様に関心をもっていただけるように計画しますので、ご協力願います。

令和6年度 真崎地区村政懇談会「コミセンのあり方」のテーマで開催されました



7月27日(土)の村政懇談会では、“地域(自治会や地域活動団体)の活動拠点”であるコミセンについて、利用している皆様が、今後どのように使って行きたいか等の意見を聞き、今後のコミセン運営に活かしていくための村政懇談会でした。



令和6年度 真崎地区自治会 今後の予定

第10回 防災訓練

令和6年10月19日(土)

各自がその場で実践! ～シェイクアウト訓練～
午前8時の花火で『安全行動』開始
1分間姿勢を維持したら終了



日 時
対 象

令和6年10月19日(土) 午前10時～12時 場所:真崎コミュニティセンター(基幹避難所)
真崎地区自治会 役員及び専門部会員、単位自治会班長、民生委員、村松小児童 他

内 容

消火器の取り扱い訓練、火災時の煙体験、発電機操作訓練、
災害時用マンホールトイレ設置訓練
避難所備蓄品展示、要支援者の安否確認など

秋季 真崎地区花いっぱい運動

令和6年11月2日(土)

建設環境部会及び地域の有志団体の方が、
真崎地区内12ヶ所の花壇に植栽活動を行います。
真崎地区の花いっぱい運動に参加しませんか。
皆様のご参加をお待ちしております。



ワクワクFOODフェスティバル2025

令和7年3月1日(土)

手作りカレー販売や赤飯等多くの飲食物を格安で販売します。子ども向けの遊びコーナーやアトラクションの他、大抽選会もあります。
皆さんお楽しみに!!



地区内活動報告

真崎区 第17回真崎古墳行灯まつり

行灯まつりは、平成20年より地域住民の「親睦と融和」及び「子どもたちのふるさと意識の醸成」を目的に開催しています。行灯まつりをとおして、異なる年齢層の大人たちが、非日常を楽しんでいる姿を子どもたちに見せることによって、将来へ地域活動が続くことを願い実施していましたが、8月31日開催は、台風10号の影響を考慮して、開催を中止しましたが、1週間遅れの9月7日(土)に規模を縮小して開催しました。来年の真崎古墳行灯まつりを楽しみにしてください。



【古墳群整備】



【行灯制作】



【行灯完成】

真崎区今後の事業予定

- ・健康ふれあい運動会 10月12日(土)
- ・防災研修会 11月09日(土)



舟石川三区 春季区民交流会「Go To Walk2024」

令和6年5月26日(日)

恒例となった、春の区民交流会「Go To Walk2024」に区民79名、山田村長、下路県会議員はじめ多くの参加をいただき開催しました。東海中学校から4名の生徒のお手伝いをいただき、子どもたちとバスケットボールなどを楽しんでいただきました。今回は4月29日に身近に開園した『「グルビー縦の木公園」をみんなで知ろう』をテーマに集会所から公園までウォークラリーを行いました。園内を散策しながら「遊具の名称当て」、「公園シンボルツリー名称当て」等、クイズを解きながら、各々楽しい時間を過ごしました。ウォーキング後は、恒例となった大抽選会。暑いくらいの好天に恵まれ、交流会を通して区民のより一層の親交を深めることができました。



荒谷台区交流会は10月実施予定です。お楽しみに!!

村松学童支援事業「ジャガイモ掘り」

6月25日(火)に、村松学童支援事業として「ジャガイモ掘り」を行いました。毎年、舟石川三区の佐藤房明様にご協力いただいております、今年度は村松学童1年生児童22名、指導員の先生3名、地区社協会長等 合計28名が参加しました。

3月に佐藤様が種植えして育ててくださった畑で、子どもたちが一生懸命ジャガイモを掘りました。土の中から出てくる大きなジャガイモに歓声がおきていました。畑から自分でジャガイモを掘る貴重な体験学習ができました。

掘ったジャガイモは、夏休みの学童クラブでのおやつで提供しました。毎年ご協力いただいている、佐藤様に感謝いたします。



【一生懸命な1年生】



【佐藤様が優しく指導】



【みんなで記念撮影】

ふれあい協力員視察研修会

7月18日(木)、ふれあい協力員視察研修会を実施しました。18名が参加し村社協バスで、つくば市のJAXA筑波宇宙センター等を訪れました。

JAXA筑波宇宙センターでは、宇宙飛行士養成エリアや国際宇宙ステーション(ISS)の「きぼう」運用管制室など、普段は見る事ができない場所を見学し貴重な体験をすることができました。つくばエキスポセンターでは、館内を自由に見学しました。

科学技術を見て・触れて・楽しめる科学館で、童心に帰り楽しいひと時を過ごしました。帰りには、道の駅常総に立ち寄り、常総の食材を購入したり、カフェでソフトクリームを食べながら協力員同士の交流を深めたりと、有意義な1日を過ごすことができました。



【JAXA 筑波宇宙センター・つくばエキスポセンター 見学のようす】

調理担当者研修会

8月6日(火)に調理担当者研修をふれあい協力員等28名で実施しました。今回の調理実習は、減塩メニューをテーマに「もっちり五穀米」「あじの香味南蛮漬け」「小松菜とにんじんのからしあえ」「鶏肉入り根菜汁」「豆腐クリームとキウイのデザート」の5品に挑戦しました。メニューの準備と調理、工程を考えながら手際よく作業して時間内に完成しました。減塩とは思えない美味しさに参加者も大満足でした。実習後は、ねもと薬局から講師をお招きし「減塩と生活習慣について」講話をいただきました。



【管理栄養士のおはなしのようす】



【楽しく調理実習】



【今回のメニュー】

第1回フレイル予防講座

8月20日(火)、真崎地区の関連団体の会員のみなさん39名が参加し、「チャレンジ99クラブ」第1回フレイル予防講座を開催しました。ねもと薬局から講師をお招きして、「フレイル予防とおくすりのお話」と題し、講演をしていただきました。おくすりについて丁寧に解説していただき普段の生活に役立つ情報について勉強しました。参加者からの質問も多くあり、有意義な講演会になりました。講演会の後は、役場保険課の健康チェックを受け、握力測定やアンケート調査を実施しました。

第2回認知症予防講座は、2月20日に予定しています。多くの方のご参加をお待ちしています。



【講演会のようす】



【講師のおはなしのようす】



【健康チェックのようす】

今後の事業予定

- ・村松小学校4年生との世代間交流会 (10/16)
- ・地区社協体育の日 **誰でも自由に参加できます!是非ご参加ください!**
(10/12、11/9、12/14、1/11、2/8、3/8)
- ・ママのリラックスタイム (11/8、1/10)
- ・舟石川三区長寿ふれあい敬老会 (11/20)
- ・第2回健康ウォーキング (11/12)



令和 6 年度定期総会

5月22日(水)、真崎コミセンにおいて令和6年度定期総会を開催しました。令和5年度の事業報告と決算報告、令和6年度の事業計画と予算案等について審議し承認されました。

村松支部では、例年真崎コミセンの(大瀧智子氏)が専門サポーターとして企画立案・事務処理を行っています。役員の皆様も知恵を出し合って助け合い、無理なく子どもの思い出づくりに協力していただければ、と思います。よろしくお願いいたします。

令和 6 年度の主要役員

- 村松支部(支部長) 菖蒲田 義博(副支部長) 石井 謙蔵 / 渡辺 寧 / 小畑 裕希
- 家庭地域委員会(委員長) 山根 祐一(副委員長) 廣岡 彩乃
- 青少年委員会(委員長) 飯田 由美子(副委員長) 菊池 むつ美
- 総務委員会(委員長) 加納 里美(副委員長) 黒羽 敦子

エンジョイ・サマースクール「クリーン作戦」

昨年度に続き、エンジョイ・サマースクールの一環として、村松小学校の通学路および周辺道路のクリーン作戦を、7月20日(土)に実施しました。村松小学校の児童、教員、保護者など、計180名が参加しました。

参加者の登録とゴミ袋の児童への配布は、村松小学校の教職員が事前に行いました。当日6:15に、青少年委員会の委員長、支部長、専門サポーターが真崎コミセンに集まり、村松小学校、真崎集会所、舟三集会所では、それぞれ(花田淳子氏、伊藤ひろみ氏、石川華苗氏、隈茂子氏)、(菊池むつ美氏、豎山絵美氏、藤井沙由里氏)、(佐藤幸子氏、飯島真里子氏、森澤京子氏、植野明美氏)がゴミ集積所を設置し、ゴミ収集活動を始めました。

8:00にゴミ拾いを終了し、各集積場所に集まったゴミは、青少年委員会の委員長、支部長、専門サポーターがコミセンに運びました。村松小学校、真崎集会所、舟三集会所の担当役員の手際が良く、一度で各集積所からコミセンへゴミを回収できました。

全体としてゴミの量は少なく、東海村は美しい村と言えるでしょう。村の美しさは犯罪の抑止にも繋がります。今後も地域住民のご協力のもと、美しい東海村を維持していければと思います。

青少年育成東海村村民会議村松支部の事業に日頃からご協力いただきましてありがとうございます。村松支部は、自治会員(教育部会員)、PTA役員、学校教員で構成され、地域ぐるみで青少年の健全な育成を図ることを目的に活動しています。この事業は、地区内の皆様の一世帯300円の会費などを基に運営されております。

■ エンジョイ・サマースクール「ペットボトルロケットを作って飛ばそう！」

エンジョイ・サマースクール『ペットボトルロケットを作って飛ばそう!』を8月24日(土)に開催し、村松小の児童や保護者など計84名が参加しました。

7月20日(土)には、事前準備を総務委員会教育部会員の浅井雅人氏、家庭地域委員会教育部会員の甲斐哲也氏の指導の下、総務委員会委員長と同教育部会員の小泉光生氏、東海中PTAの照沼美香氏、宮内明日香氏、支部長と同副支部長の小畑裕希氏、家庭地域委員会教育部会員の澤口拓磨氏、村松小おやじの会会長の忠田恭一氏、専門サポーターに加え、ボランティアの中学生1名と小学生1名が行いました。

当日は、支部長、副支部長の石井謙蔵氏、総務委員会委員長、副委員長、総務委員会教育部会員の井坂幸子氏を含む3名、家庭地域委員会教育部会員2名、村松小PTAの菅原佑樹氏、東海中PTA1名、真崎コミセン副センター長の小野瀬正美氏、村松小校長の篠崎昌子氏、同教頭の佐藤顕太郎氏、同教諭の飯島麻衣氏、専門サポーターに加え、東海村高校生会からボランティアとして中川翔吾氏、関田圭佑氏、小泉愛葉氏、小学生1名が村松小学校に集合しました。

12:00に校庭に TENT を張り、13:30 から体育館で浅井雅人氏の指導の下、90 分ほどかけてロケットを作り、16:00 までロケットを飛ばしました。今年は炎天下での開催でしたが、6 人のボランティアの協力のおかげで、小学生たちも喜び、役員一同大変助かりました。ボランティアスタッフには、感謝の印として粗品が贈呈されました。

最後になりますが、ご多忙の中、貴重な時間を割き、このイベントの開催に長年貢献している浅井雅人氏、甲斐哲也氏と澤口拓磨氏に、深く感謝申し上げます。

■ 活動のようす



今後の事業

- 10月5日(土) つり大会(中央排水路)
- 12月7日(土) お楽しみウォークラリー大会(真崎コミセン周辺)

※ウォークラリー大会当日は、真崎コミセン周辺道路で参加児童がウォークラリーを行います。午前中に子どもたちの楽しむ声が響くと思いますが、周辺住民の皆様には、子どもたちを温かく見守っていただければと思っています。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



細浦を望むデッキ完成

「ふれあいの森に倉庫や、作業が終わった後に集える場所が欲しいよね」つぶやいた一言は東海村・茨城県が関わる相談事となり、様々な制約が約3年前に了解が得られました。デッキ等の製作にあたっては安全面を考慮した設計・材料費の高騰・協力者との調整等困難なことだらけでしたが、素人集団（7人）が作ったものとしてはなんとか使えるものが5月末に完成しました。

ここが「真崎地区の憩いの場所」であり続けるように我々の活動は続いていきます。



真崎の未来を考える会 真崎ふれあいの森整備活動 Gr 森整備班

（森整備班の活動は毎月第1日曜日9時から12時までおこなっています。どうぞご参加ください）

真崎コミセン内に行灯（あんどん）を展示

「真崎古墳行灯まつり」では、毎年地区内の児童、園児たちが行灯の絵付けを行ってくれています。子どもたちの豊かな個性を生み出す色とりどりの行灯をじっくり鑑賞していただきたく、村松小6年生の行灯はコミュニティセンター和室前廊下に、10月中旬の世代間交流会まで展示しております。ぜひご覧ください。



今回の自治会だよりでは、令和6年度の今後の予定と、今夏に実施された活動内容について記載させていただいております。各団体とも、厳しい暑さにも負けずに精力的に活動されており、驚かされるとともに頭の下がる思いです。私事としまして、東海村に居住してから初めて東海まつりに参加させていただきましたが、様々なイベントの企画やフードカーの出店等があり、子どもと一緒に大変楽しむことができました。真崎地区自治会としても防災訓練、FOODフェスなどの大きなイベントが予定されております。より有意義なイベントとするため、地域の皆様の団結が必要になります。引き続きご協力よろしく願いいたします。

【田口】

※この自治会だよりは、東海村みんなで地域づくり事業、真崎地区社会福祉協議会、青少年育成東海村民会議村松支部の補助金等によって発刊しました。